

■正答

- 一 1 ①
- 2 4

- 二 1 1

- 3 (れい) 数字を使うと、たくさんのじょうほうをかんとんにまとめることができ  
 ること。(三十六字)

■考え方

- 一 1 生活の中でうれしかったときの「できごと」「や、そのときの「気持ち」について  
 スピーチをしています。アトハは「できごと」「ウは「気持ち」を表しています。  
 2 「さきちゃん」が出てくると「目」を向けると、「二」に入るかが分かります。
- 二 1 文やだんらくをつなぐ言葉を「接続語」と言います。「接続語」には、前の文やだ  
 んらくと同じ内容をつないだり、前の文やだんらくの内容と反対の内容をつないだ  
 りするものがあります。□には、同じような内容をつなぐ言葉の「また」が  
 入ります。  
 2 つたえたいこと(線)のさいしょの言葉「これは「二」目を向けます。「三  
 れらは「は、三つのれいをまとめた言葉なので、「この言葉より前のだんらくに出てく  
 るれいをさがします。  
 3 筆者がよさと考えた、具体的な内容が書かれた部分を探しながら、問題文を読む  
 ようにします。

取り組んでみよう！

■ 次の文の主語に——線、じゅつ語に——線をひきましょう。

- 1 空が青い。
- 2 子犬が、ミルクをのんだ。
- 3 きのおう、たねからめが出た。

答え

空が青い。 空が 空が青い。 空が 空が青い。 空が  
 子犬が、ミルクをのんだ。 子犬が 子犬が、ミルクをのんだ。 子犬が 子犬が、ミルクをのんだ。 子犬が  
 きのおう、たねからめが出た。 きのおう、たねからめが出た。 きのおう、たねからめが出た。 きのおう、たねからめが出た。 きのおう、たねからめが出た。